



コザー浦添 24点目のシュートを決める浦添の金城彩佳。3日、県総合運動公園体育館(金良孝矢撮影)

# 浦添 5年ぶり 栄冠 南 男子ハンドV

## 県高校新人大会

県高校新人大会は3日、与那原アリーナで行われたハンドボールとヨットの2競技を行った。県総合運動公園体育館で行われたハンドボール男子決勝は、興南が那覇西を40対23で破り16年連続36度目の優勝を果たした。女子は浦添がコザに28対24で勝利し、5年ぶり10度目の栄冠をつかんだ。

▽3位決定戦  
北中城 36 2115  
コザ 24 1113

▽決勝  
興南 40 1822  
那覇西 23 1512

▽3位決定戦  
那覇西 37 2017  
浦添 28 1414

▽決勝  
浦添 28 1414  
コザ 24 1212

## 守備からリズムで逆転

各大会の決勝で負けが続いていた縁の相手コザに、浦添がついに勝利した。前半は序盤にリードされるも守備からリズムをつくり逆転に成功。後半も勢いを保ち逃げ切った。優勝旗を受け取ったメンバーに笑顔がはじけ、5年ぶりの栄冠に浸った。

登録メンバーは2年生が4人で1年生が10人。まだまだ「荒削りのチーム」(神谷綱史監督)だが、負けん気の強さがある。9月の選手権大会は決勝でコザに19対32の大差で敗れた。その悔しさを胸に、パスやシュートなどの基本練習を徹底してきた。

この日は長谷川仲西涼夏(1年)の好セーブから流れをつかんだ。シーソーゲームとなるも比嘉菜々美主将(2年)らがしぶとく加点し、前半を14対12で折り返す。後半も堅守で集中力を保ち、要所で金城彩佳(1年)らがシュートを決めてリードを守った。

チームを引っ張ってきた比嘉は「やってきた練習は間違っていないかった」と胸を張った。神谷監督は「けが人が2人いる中、残ったメンバーがよく頑張ってくれた」とたたえた。

チームの目標は日本一。この日の勝利を自信に変えて、さらなる高みを見据える。

(金良孝矢)

### ハイライト

### 浦添、5年ぶり栄冠

この日は長谷川仲西涼夏(1年)の好セーブから流れをつかんだ。シーソーゲームとなるも比嘉菜々美主将(2年)らがしぶとく加点し、前半を14対12で折り返す。後半も堅守で集中力を保ち、要所で金城彩佳(1年)らがシュートを決めてリードを守った。

チームを引っ張ってきた比嘉は「やってきた練習は間違っていないかった」と胸を張った。神谷監督は「けが人が2人いる中、残ったメンバーがよく頑張ってくれた」とたたえた。

チームの目標は日本一。この日の勝利を自信に変えて、さらなる高みを見据える。

(金良孝矢)



5年ぶり10度目の優勝を果たした浦添女子。16年連続36度目の頂点に立った興南男子。3日、県総合運動公園体育館



興南 那覇西 26点目のシュートを放つ興南の高吉航太

## 主力欠くも チーム奮起 興南、16年連続V

〇：危なげなく優勝した興南だったが、エースの洲鎌史成主将ら3人をけがで欠くなどチームの状態は万全ではなかった。しかし代わりに出場した高吉航太らが「(出られない)仲間の分まで勝ちきろう」と思ったと奮起し、王者の意地を見せた。

高吉がチームのエースナンバー「7番」を背負うことが決まったのは大会3日前。プレッシャーもあったが「背負うからには頑張ろう」と、後半にサイドから連続得点を決めるなどしてチームを盛り立てた。

守備では相手エースの動きを封じた比嘉優太郎の活躍が光った。1週間前に右肩を痛めてボールを投げられないほどだったが、堅守に徹した。勝利に貢献し「ほっとしている」と安堵(あんど)の表情を浮かべた。

(金良孝矢)

### ヨット

▽与那原アリーナ  
▽シングルハンダー1級 ①島袋秀俊(知念)4点②高良琉空(同)8点③青山航輔(同)11点